

私の暮らし会議「アイディア」 R6. 11. 27

1事例	2事例
交流のない姉妹と連絡をとる、同じ施設内の方と交流する機会を作る。	女子会ができるような小さな集会場(だれでも利用可能)。ポットやお茶請けがあると良い。
義歯がないと認知症のリスクが上がるので、歯科受診し義歯調整し、若々しく気分を上げる。	疼痛管理をしないと、行動範囲も限られるので、長時間座位保持が維持できるようにする。
興味をたくさん持たれており、施設で、本人に任せられる仕事があれば、やってもらう。	痛みから解放されて女子会ができるとよい。
移動販売車を手配し、自分で買い物できる環境を作る。	リハビリ、自宅から歩行練習をして歩いて買い物ができることの目標に向けて進むと良い
今できている事を評価し、しっかり見つめなおし、今一度目標を定める。1つ1つの目標をクリアできている事は凄い。	
声かけすれば、カーテン開けなどできているので、依頼や一緒に行くという名目で施設内での片付けなどを一緒に行う役割として活動性を増やしていく。	リハビリへの意欲は不明だが、腰背部の負担軽減の運動内容としては、腹部の収縮などの体幹運動や腰部のストレッチ、有酸素運動での減量などが取り入れられたら良い。
施設での役割を再獲得できるようヘルパーと一緒にいることを少しずつ本人の割合を増やしていけると良いと思った。本人が無理なくできることを増やすと良いと感じた。	新しい環境は無理につくらず、今まで楽しめていた女子会、カラオケを再開できると良い。
病前からの楽しみややりたいことなど目標となることが発見できることが大切だと感じた。	一人の方をとりまく環境、職種、地域の特性を様々な視点から考える大切さを学んだ。